

まず、6 月 5 日未明（現地時間）にバンクーバー市内で邦人男性が殺害される事件が発生しました。被害者の方に心より哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。なお、同地警察より、容疑者が 10 日に逮捕された旨、発表されています。

さて、今月も暖かい気候が続き、日本関係行事も活発化しています。

●日本において、ケベックを中心として、フランコフォニーに関する学術研究及び芸術文化交流の振興と推進を目的とする「日本ケベック学会」様から、少し前になります。が、15 周年記念として企画した以下の二冊を紹介いただきました。

ジャック・ラクルシエール著（小倉和子他訳）『ケベックの歴史』（水声社）

日本ケベック学会編『ケベックを知るための 56 章【第 2 版】』（明石書店）

ケベックの歴史や現在が、このように日本語で読めること大変ありがたいことです。こうした書籍を読んだ上で、日々目にする建物や通りの名前にもそれぞれの歴史や意味が刻まれていることを考えるといつもと違う輝きを持って見え、これは現地に住んでいる 1 つの醍醐味だと思います。

●5 月 22-24 日、プリンス・エドワード・アイランド（PEI）州を公式訪問しました。現地では、ペリー副総督、キング州首相、コンプトン州議会議長、アルスノ経済開発・イノベーション・貿易大臣、ディーグル漁業・観光・スポーツ・文化大臣、ブラウン・シャーロットタウン市長と、同州と日本との関係強化に向けた意見交換を行いました。また、キープ PEI 大学暫定学長等と日本との大学間交流の促進についても意見を交わしました。日本に馴染みの深い『赤毛のアン』などモンゴメリ作品はもちろんのこと、新鮮で美味しい料理、映画の 1 シーンにもなりそうな街の風景など、魅力満載な州でした。また、日系企業のセキスイ・ダイアグノスティックス、2020 年に外務大臣表彰を受賞したグリーンゲイブルズ・ヘリテージプレイスそしてベデック地域歴史博物館及びモンゴメリ氏が教師として教えていた校舎を視察しました。博物館及び校舎は、コールベック元 PEI 州首相・元連邦下院議員にご案内いただきました。コールベック氏は、強制収容所から戦後、PEI 州に移住した最初の日本人 Mizuno 家を受け入れたコールベック家の一員であり、Mizuno 家のお話についても同博物館に資料が展示されています。公式訪問を企画いただいた PEI 州儀典局に感謝いたします。





●29 日、今年 3 月に行われた第 34 回ケベック州日本語弁論大会の入賞者の皆さんのお祝いと激励のため、日本語教育関係者の皆さん、元 JET 参加者、元国費留学生等と交え、交流レセプションを公邸にて開催しました。日ごろの日本語学習の成果を発揮し、入賞された皆さん、おめでとうございます！また、弁論大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。また、全ての弁論大会参加者の勇気と努力を心から称えます。当館も、今後も当地における日本語教育の推進に向け、最大限協力していく所存です。



●30 日、ケベック州国際関係・仏語圏省が、モントリオール駐在の領事団を対象として主催した Mont Laurier 近辺にあるグラフィット鉱山視察に参加してきました。ケベック州が戦略的鉱物資源のバリューチェーン構築を重視していることがよくわかりました。この視察を企画された国際関係省と受け入れ先の企業関係者の方々に深く感謝します。



写真提供：ケベック州国際関係・仏語関係省儀典局

●6 月 7 日、5 年がかりの改修工事が終わったモントリオール市庁舎のお披露目式に行き参りました。市議会メインホールをはじめとして、重厚な建物ですが、他方で、テラスなどにモダンな趣向も凝らされていて、同市の象徴として機能することでしょう。



●13 日、YATAI MTL の開会式に出席してきました。各種日本料理、日本酒、お茶、調味料、スイーツ、アクセサリー、お花、盆栽、書道、陶器、服飾・着物、文房具、音楽、ダンス、武道など、56 の屋台等が軒を並べていました。主催者やそれぞれの出展者の方が、心を込めて提示した日本文化の諸相が万華鏡のように広がっていました。15-16 日の週末は、広い会場でしたが、現地の方々を中心に多くの来場者が詰めかけたと聞いています。本件行事の成功おめでとうございます！



●14 日、ケベック・日本ビジネスフォーラム（QJBF）の年次総会が開催されました。その機会に行われた、ケベックと日本の将来に関する年次イベントでは、サンカルティエ・ケベック州国際関係・仏語圏省次官（オンライン）と共に冒頭スピーチを行い、出席者からも活発にコメントがなされました。総会後に開催された執行理事会では、会長はじめ新役員の選出や執行理事メンバーの承認が行われ、当館からは森本首席領事が出席しました。当館は、引き続き、日本とケベックの経済関係緊密化に尽力して参ります。



* 上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な 1 か月でした。

* 本件レターは仏・英語にても、メルマガ購読者に配信しています。